

人間文化学科通信

号外⑤

菅野ゼミは、美術を中心にした卒業論文執筆に向けて、互いのテーマに興味をもちながら自らを高め合うことを目標にしています。

現在4年生6名、3年生5名。これまでのテーマ案は、国宝の曜変天目茶碗に歌川国芳、ミュシャやルノワール、フランスのサロンの画家カバネルなどのいわば王道路線から、浮世絵の彫師とか春画、描かれたジャコウネコ（図1）や鮭、子犬、幽霊、それにマンガの『少女椿』から『鬼滅の刃』、『呪術廻戦』までと、実に幅が広いです（広すぎ?!）。

そんなゼミの時間を一番楽しんでいるのが、実は担当教員。自分の予想のはるか上に行く学生たちの話と、そこに生み出される自由な雰囲気大好きです。

このゼミではお互いのコミュニケーションも大事にしています。学祭でのゼミ展示は3年生全員参加。去年は「おもちゃ絵の世界」として、幕末明治の浮世絵から、のぞきからくり、被り物、姉様絵（着せ替え）、立版古（組み立て）などを選んで制作し、ポスターから装飾までをも含めて愉快的な展示をしました（図2）。今年はどうなるかな？

ゼミ旅行では美術館・博物館巡りをします。その目的は常設展示を仲間とゆったり観ること。作品鑑賞のコツは、いい作品を何度も、できれば他の人の意見も聞きながら観ることです。そして常設展示ならば、気に入った作品にはまた会いに行ける。そんな贅沢な想いを味わう企画です。今年1月にはリクエストがあったので、国立西洋美術館で開催された「モネ 睡蓮のとき」展や国立科学博物館も楽しみました（図3）。

担当教員：菅野洋人



図1 東京ドームシティのアニタッチにいるジャコウネコ的一种ビントロング。ジャコウネコはネコじゃないんです！



図2 2024年度学祭での「おもちゃ絵の世界展」



図3 国立科学博物館の剥製展示は時間を忘れず（宮本袖奈撮影）